

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成 23年2月8日		
		作成部署	建設交通部道路管理課		
事業名	主要地方道網野峰山線 地方道路交付金事業	地区名	京丹後市網野町郷		
概算事業費	約6.8億円	事業期間	平成23年度～平成28年度		
事業概要	歩道設置 L=520m W=6.5(10.5)m				
目指すべき環境像	当該箇所は、川と山に囲まれた自然豊かな箇所であるとともに、小学校が立地している。このため、当該地区の自然環境や景観を維持するとともに、歩行者が安心して通行できる歩行空間を整備する。				
関連する公共事業	なし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO <sub>2</sub> 排出量等)	当エリアは、山陰海岸ジオパークの郷村断層エリアであり、多様な地形・地質を保全する必要がある。	貴重な地質遺産を保全するため、現道を利用した道路線形による現道拡幅とし、地形の改変を最小限にする。	4	
	地形・地質				○
	物質循環(土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系				
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	施工地は、小学校の通学路となっているが、歩道が設置されていないため、安全な歩行空間を確保する必要がある。	バリアフリー構造の歩道を設置し、誰もが安全に通行できる歩行空間を整備する。	5	
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動	施工地は、人家連担地域であるため、施工中に発生する騒音・振動を抑制する。	早朝や夜間の工事を極力避けるとともに、低振動低騒音の建設機械を使用する。	3	
	廃棄物・リサイクル				
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	施行地は、川と山に囲まれた自然豊かな地域であるため、土地の大幅な改変による景観への影響を極力さける必要がある。	道路空間が広がることにより、周辺の地形等の景観が向上し、郷村断層をはじめとする周辺の貴重な地形・地質遺産の保全に寄与する。  道路整備によるアクセシビリティの向上により、ジオツーリズムによる地域社会の活性化に寄与し、地域遺産を活かした地域づくりを応援する。	4	
	里山の保全				○
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
	その他				○
外部評価					